

地域にはばたく市民パワー！



ところざわ倶楽部「広場」

所沢市民大学修了者の会 広報紙

2025年3月号(第190号)

発行責任者 松尾 基昭

2025年 今後のイベントのご案内

◆春のイベント

ところざわ倶楽部寄席

今年度の春のイベントは「ところざわ倶楽部寄席」を中央公民館のホールで開催します。この行事は有料(会員500円、会員外1,000円)ですが、第18期の新入会員は歓迎の意を込めて無料でご招待いたします。

内容としては、落語5席・講談・色物として東大ハロプロ研究会によるダンスを予定しており、笑いと笑顔、そして元気を届けて頂けるものと思っておりますので、皆さま方のご来場をお待ちしています。

◆文芸講座

文芸講座は現在、担当理事の方々と講師とテーマについて検討中です。

候補に挙げられているキーワードは「武蔵野(所沢)」「日本/西洋の古典」「女流作家」「旅行」などです。

これら以外に具体的な意見・要望を募集していますので、各サークルの理事の方へご連絡ください。

実施時期は5・6月頃と考えていますが、従来の2回開催に拘らずに検討します。

◆時局講演会

‘時局’に相応しいテーマと講師を検討します。猛暑になる前に実施したいと考えています。

事業部長 野口 喜美夫



(写真) 所沢市文化財保護課より、「秋田家」お雛さま



所沢市の中央公民館の近くにある「秋田家」は、明治～大正時代に所沢の有力綿糸商として、織物産業の発展を支えた歴史ある建築です。3月9日(日)に特別公開します。



本稿は、早稲田大学人間科学部大島ゼミ生が執筆し、当倶楽部もその研究活動に協力した卒業論文の要約です



高齢男性の社会参加に繋がる要因に関する研究

早稲田大学人間科学部 4年 片岡 未輝矢



早稲田大学人間科学部の片岡未輝矢と申します。この場を借りて、本研究にご協力頂きましたところざわ倶楽部の皆様に深く御礼申し上げます。本研究では皆様のインタビュー調査を通じてサークルの長所・短所がまとめられたと考えております。全てを

書ききれないのが申し訳ないのですが、精一杯わかりやすくまとめました。

私の研究は高齢男性の方が定年退職後に家に引き篋もりがちになってしまっていると言う現状から、ところざわ倶楽部様のような高齢者主体のサークル活動がこの問題の解決の糸口になっているのではないかと考え始めました。そして、高齢者主体のサークル活動が社会参加に繋がっている点、繋がっていない点を、インタビューを通して私の中でまとめたものとなっております。

1. 社会参加に繋がっている良い点に関して

① サークルが活発だと一度入ってしまうとあれもこれもと二つ以上のサークルに入ってしまうような魅力がありました。さらに多くのサークルに所属するとこまめな連絡が行われており、そこも社会参加に繋がる要因だと感じました。皆様の活動は非常に興味深いものが多く、また笑顔が溢れており多くのサークルに参加しちゃうのもとても納得しました。

② サークルに行く楽しみとして、サークル活動の後のお茶会や飲み会など、サークルに加えてもう一つ楽しみをプラスしている点が良かったです。サークルの前後にも楽しみがあるというのは継続に関する促進要因になります。サークル前後のお茶会や飲み会は楽しみにしている方が多くいると思います。お茶会や飲み会は地域に溶け込めたり、

地域の人と仲良くなれる状況の一つだと考えております。これは孤独死の防止の観点でも非常に有効です。男性同士の飲み会は男性の孤独死の低下に繋げることができる一つの方法であると私は考えております。飲み過ぎなどお身体には気をつけて飲み会やお茶会を今後も是非続けていってください。

2. 社会参加につながっていない改善したい点に関して

① 新しい物事へ参入の難易度の高さ

「70歳以上だと新規に何かやることは困難」と言う考えの方もいました。人生100年時代とは言いますが、日本の健康寿命（70歳～75歳付近です）を考えると「70歳以上だと新規に何かやることは困難」と言うのはその通りであり、新しくどこかに属するという負担は大きいものだと感じました。定年退職が遅くなっている現在、70歳以上でも所属しやすいサークル活動の作成が鍵になってくると考えました。

② 地元を知らない状況での軽率な発言

地元には馴染みがない方と地元には馴染みがある方で、地元に関する話にズレが出てしまうという問題がありました。“時代が違うから男性は全国転勤、女性は地元で働き、結婚した時に寿退社をするのが普通だった”という時代が変わりつつあるので、徐々に男性が地元には馴染みがない状況も変わっていくのではないかと考えてみました。これは、時間が解決してくれるのではないかと考えております。

これらの点から、多くのサークルに入ったり、サークル活動の後のお茶会や飲み会などの継続要因が多いという状況から一度入った会員が辞めたくないと思うサークル活動を今後も継続して行うことが大切であると私は考えました。

最後に本研究にご協力頂き本当にありがとうございました。

本稿は、早稲田大学人間科学部大島ゼミ生が執筆し、当倶楽部もその研究活動に協力した卒業論文の要約です

情報通信技術を活用したより良い高齢者の住環境の提案

-アクティブシニアの生活ニーズを満たすスマートホームとは-

早稲田大学人間科学部 4年 齋藤 琴乃



現代の日本では、高齢化率が29.1%と進んでいるにも関わらず、1人暮らしの高齢者は増えており、将来身体が虚弱化した際も自宅暮らしを望む人が増えている。しかし、高齢者が自宅で暮らすには、孤独死や健康管理の不行き届きなど様々なリスクが生じる

ため、高齢者が安全かつ快適に自宅で暮らせる環境を提供することが重要な課題である。

その問題の解決策として、現在注目されているのは、「スマートホーム」である。「スマートホーム」とは、住宅とICTが融合して快適な暮らしを実現する住まいのことである。例えば、センサー等による在宅の見守りや防犯ができたり、エネルギーの需給量を調整し、省エネ・節電ができたりと用途は多岐にわたっている。

以上のことより、本研究の目的は、ICTを導入することによって、1人暮らしに潜むリスクを解決することができるのではないかと考え、まず高齢者が必要としているICT支援・機能は何か明らかにすることを目的とした。また、高齢者が必要としている使いやすく過ごしやすい住宅であるスマートホームに着目し、よりよい住環境の提案も行うこととした。

貴団体に協力していただいた、アンケート調査では、(1)回答者の属性、(2)生活意識、(3)情報技術に対するという3項目ごとに質問を設け、アンケート結果に基づいて単純集計・クロス集計分析を行なった。

また、ICT展示会とスマートホーム技術の最前線で活躍する企業A社へのヒアリングで情報収集を行った。そして、その結果と研究1との結果の照合を行い、ICTの選定・導入プロセスやより良い住環境の提案を行なった。

結果として、対象者57名のうち、有効な分析対象は46人となり、75歳以上が76.1%であった。うち84.7%が高齢単身世帯もしくは高齢夫婦世帯であった。

生活意識では、医療費以外に対して節約意識が見られ、健康への関心が非常に高いことが示された。ICTに対する意識は、全体の60.9%がICTへの期待値が比較的高かった。また、スマートホームの利用に関しても、対象者の半数は関心を示していた。

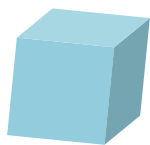
また、クロス集計では、年齢とICTに対する期待度、経済状況とICTに対する抵抗に関連があることが示唆された。さらに、世帯人数と節約意識、年齢と日常生活で気遣っていること、経済状況及び世帯人数と日常生活であると便利な支援は属性別で違いが見られた。

また、注目されている技術として主に企業の方から挙げられたのは、スマートフォン等の端末で遠隔で鍵の施錠ができる「スマートロック」、エネルギー使用量を可視化し、調節する「HEMS」、会話AIで自然な会話のキャッチボールが可能な「AI会話ロボット」、Wi-Fiの波形を利用し、見守りカメラとは違い、高齢者のプライバシーを配慮した「見えない形」での家族による見守りが可能な「Wi-Fiセンシング」であった。

考察としては、世帯別だと、1人世帯では個人的な趣味を重視し、生活直結の支出の節約が中心であり、2人世帯では家族全体の支出を意識した節約を考えると考えられる。また、全年代で健康への高い意識があることも推測される。経済状況が中間～比較的余裕である世帯では、生活の質や安全を維持・向上させるような便利な支援を求めていると考えられる。

よって、①属性別でのニーズの把握、②ニーズとICTの照合、③機器導入の設計という導入プロセスが考えられる。





「広場」編集委員の活動紹介

編集委員 新井智子

ところざわ倶楽部「広場」はこの3月号で190号です。気が遠くなるほど歴史があります。携わった編集委員は多すぎて書ききれませんが、全員が精一杯頑張ってお下さっています。毎回作成にあたって各編集委員がどんな想いで作業をしているのか言葉にはできません。勿論ご家族のご協力もあると思います。全員で総力と誠意を尽くして仕上げ、皆様にお届けする。その満足感、達成感は格別なものです。

「広場」の目的は沢山ありますが全てが会員様へのものであり、皆様の大切な原稿をお預かりし、広場の紙面に公表するという大きな使命を担っています。

編集委員は各自それぞれの多忙と事情を抱えながらも、集結して一つの物を仕上げ、残し、その心と一緒に未来へと受け継いでゆく。それは今までもこれからもずっとでしょう。それが「広場」を作り続けていく疑問への答えだと思えます。

皆様、一度見学に来てくださいませんか。活発な編集委員会会議風景、又女性中心メンバーが印刷業務を頑張っている姿。



ITで送付の方以外にはペーパーで渡しています。印刷業務は重要です。例え自分にその日重要な用事があっても駆けつけることもしばしばです。又印刷した物の折込み作業も見てください。完成品は、沢山の公民館やらそれぞれ必要な場所へと配られて行きます。郵送を希望される方々の為に郵送業務もあります。郵送費は最近値上がりして大変です。全ての流れ作業は簡単なようで実は緻密で完成されたものです。「全ては個であり全体、全体であって個」です。大きな特徴は、編集委員は皆優しく、助け合い仲良しでいつも笑いが絶えないことです。



歴代広報部長(敬称略) ①平栗彰子 ②清水仁一 ③中村正實 ④池田新八郎 ⑤高橋越彦 ⑥仲山富夫
⑦海老澤愛之助 ⑧玉上佳彦 ⑨小田島禮子 ⑩横山芳江

広場第1号 倶楽部第1期 2007年11月設立 同年12月発行 (配布先: 2025年1月現在) 公民館、学習センター等24ヶ所、郵送希望者23名、印刷数440~540部(講演会用、市民大学受講生人数分)



【現編集メンバー】 発行責任者: 松尾基昭 広報部長: 横山芳江 総務部長: 中原幹男 事業部長: 野口喜美夫 編集部顧問: 玉上佳彦 編集担当: 川上紀春 梅津博紀 大木美和子 岩瀬真弓 稲村洋二 新井智子 鈴木安弘 松原恵子 松原寿史



(シトカ市)

1982年9月、私はそれまで6年間過ごした赴任地である米国ワシントン州シアトルからアラスカ州シトカ市へ転勤を命じられ着任しました。シトカ市は人口8,000人の東南アラスカの小さな町で、そこに日本が戦後初めての海外投資をし、建設した大きな繊維用のパルプ工場があります。それが半官半民の会社アラスカパルプ(株)のシトカ工場です。アラスカ州の広大な原生林を利用しアラスカ州の産業の振興と日本の繊維会社が必要とされる繊維用のパルプの供給基地として米国政府と日本政府が50年間の森林伐採契約を結びこの契約を基にしてできた会社です。私は前任者がすでに赴任期間が10年を超えており、その交代として赴任しました。

ただ、私が赴任した時期は会社の業績が悪化し、アメリカ人はもちろんのこと日本人も将来に不安を抱いている時期と重なりました。昼間のカフェテリアでは今日はだれが敵になったなどと話題になり雰囲気は暗く冬のアラスカの天候のようによどんでいるように感じていました。1983年になった1月の終わりが現地法人の社長からアメリカのDexter社からDexter Japanに稲村君を採用したいとの申し入れがあったと東京の本社から連絡が来ている。どうするか返事が欲しいとの話がありました。私はDexter社については若干の知識がありましたが詳しくは知りません。私もこのままアラスカに留まっても何年いることになるかわかりませんでしたし、いまの会社の経営陣が総退陣することは決まっております。数日後現地法人の社長にOfferを受けたいと返事をしましたが、Dexter社本社のあるコネチカット州のハートフォードに行って面接試験を受けなければなりません。私はそれまでCelanese Mexicana社との取引の担当者としてシアトルから年6～7回はメキシコシティに出張していましたが、この時も偶然にも契約交渉でメキシコに出張する予定がありました。そこでメキシコ出張の帰りにシアトルからハートフォードに飛び面接を受けることとし、メキシコのホテルで東京から来た上司に話し上司から“自分たちは退任する。会社に縛られることなく自分でチャンスをつかみなさい”といわれ吹っ切れました。交渉を終え帰りのシアトルのホテルでは頭の中では想定門答をくり返し夜もよく眠れない状況でしたが、翌

あの日 あの時

所沢の自然と農業 稲村 洋二

朝目が覚めると気分がすっきり何も気にならない状態になっていました。気分爽快で、もう面接試験はOKだという気になっていました。

何故そうなったか今でもわかりません。面接は2日間で到着日の夕食と翌日の4人のアメリカ人から別々に受け、2日目の夕方“qualify”すると言われホットしました。面接では“自分のこれまでのビジネス経験から成功例は何か”と聞かれました。その時私はメキシコとのビジネスについての話をしました。当時のメキシコ経済は最悪で1982年国が外貨支払いを停止し国として債務不履行を宣言し、売り上げ代金約50万ドルが支払い停止となり繊維の材料であるパルプの出荷を停止しました。しかしCelanese Mexicanaは自分たちが製造している製品は輸出用なのでメキシコ政府は優先的に外貨を割り当ててくれる。だから原料を出荷して欲しい、そうでないと工場が止まる、同時に必ず50万ドルは支払うからと強く要請され、結果として原料を出荷しました。その年の12月末払いの50万ドルは入金しました。このような、いきさつもありその後1983年8月にメキシコシティで全メキシコ購買協会の大会で表彰する旨の招待状が私宛届きました。しかし私は8月にはアラスカを去って日本に帰国することにしていたので表彰式に出席することは出来ず、代わりに私の後任が出席しました。今振り返ると、この時のことは私の人生の中で大きな転換期であったと思います。

一方で私の前任者の人生プランを狂わせてしまったのではないかという思いがその後長く心に澱んでいました。



サークル活動報告

懐かしの映画観賞会・新春の集い



懐かしの映画・鑑賞会 内川 賢治

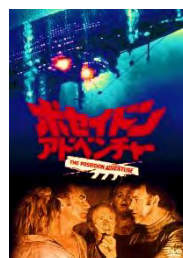


新年の上映会は1月21日(火)『喜劇 急行列車』渥美清、小沢昭一他 新年に相応しいお笑い映画でした。季節の歳時記『繭玉飾り』で五穀豊穡、皆様のご多幸を込めて繭玉を飾りました。二上拓夫さんの舞踊『荒城の月』、岡本詔一郎さんのオカリナ、鼻笛、福引等で会を盛り上げて頂きました。2月11日(火)は洋画『ジャイアンツ』テキサスの大牧場主のもとに、東部の女性(エリザベス・テーラー)が嫁いでいきました。西部で石油を掘り当て大金持ちになる物語でした。上映が3時間半と長時間の為、途中皆さ



んでお弁当を食べました。楽しいひと時でした。

今後、3月18日(火)『黒部の太陽』、4月『ポセイドンアドベンチャー』、『キネマの天地』と素晴らしい映画を上映します。皆様、どうぞご参加して感動を共にしましょう!!



みんなの広場

「笑顔の輪ができました♪(^.^)」



民話の会 薄井 文子



2月14日(金)柳瀬地区にある「新郷団地サロン」で所沢の民話と紙芝居の「お話会」を担当しました。今回はメンバー4人で参加。団地にお住いの12人の皆さんが、それぞれお出かけの装いで手に手にお茶菓子を携えてあいさつを交わしながら和やかに集まりました。プログラムは所沢の民話「あっちいちいの新光寺」と紙芝居「びんぼうがみとふくのかみ」、そして「春の歌」を合唱し「春の花々」の写真鑑賞でした。民話や紙芝居の語りの最中、思わず笑ったり声をかけてくださったり、語る側もますます熱が入りました。最後の「幸せなら手をたたこう」で皆さんとハ

イタッチ! 交流も盛り上がり和気あいあいのうちに、約60分の「お話会」が終了となりました。

代表者からの感謝の言葉と、参加された皆さんから「とても楽しかった! 恒例にして、また来ていただきたいね!」との感想をいただきました。

「民話の会」のモットーである「喜ばれることによるこびを!」、サロンの皆さんからたくさんの応援パワーもいただきました。「お話会」のひと時を大切に、これからも「元氣と笑顔の輪」を広げていきたいと思ひます。



サークル活動計画

興味のある活動に参加してみませんか？

<p>1. アジア研究会 (玉上 佳彦 090-2497-1076)</p> <p>3月19日(水)13:30~16:00 ミュース管理棟4階和室2号 テーマ:「百人一首 競技かるたの世界」 ※定員20名(申込先着順)</p> <p>4月23日(水)13:30~16:00 中央公民館 8・9号室 テーマ:玉上会員による台湾旅行報告</p>	<p>8. ドラマティック・カンパニー (吉田 紘之 080-3480-7760)</p> <p>3月15日(土)10:00~12:00 中央公民館学習室3号 「リチャード3世」朗読続き</p> <p>4月5日(土)10:00~12:00 中央公民館学習室3号 「リチャード3世」朗読続き</p> <p>4月19日(土)10:00~12:00 中央公民館学習室3号 「リチャード3世」朗読続き</p>
<p>2. 楽悠クラブ (田村 健一郎 2949-3434)</p> <p>3月4日(火)13:15~16:30 中央公民館3階8・9学習室 鑑賞演目 映画「クララ・シューマン愛の協奏曲」1時間49分 才色兼備の音楽家クララの生涯を描いた伝記映画</p> <p>4月8日(火)13:15~16:30 中央公民館8・9学習室 鑑賞演目 三大テノール・ライブ</p>	<p>9. 懐かしの映画・鑑賞会 (二上 拓夫 080-1250-6151)</p> <p>3月11日(火)10:00~12:30 西新井町会館 洋画「プロジェクトA」'84年米国 ジャッキーチェン 他</p> <p>3月18日(火)10:00~14:00 西新井町会館 邦画「黒部の太陽」(68年日活) 石原・三船 共演 長時間映画ですので、食事をしながら上映会行います ※季節の歳時記「桃の節句」 ひな飾り等飾れるかな!?!</p>
<p>3. 食を通して所沢を知る会 (矢崎 みどり 2943-4250)</p> <p>3月25日(火)10:00~ フードコート・エミテラスにて 日本の米の将来性について</p> <p>4月22日(火) 料理教室 ケーキとお焼きをつくる</p>	<p>10. 脳活サークル (野口 喜美夫 090-8054-3317)</p> <p>3月24日(月)13:30~16:30 中央公民館 学習室5号 総会&次年度の活動内容を協議し確定する。</p> <p>4月21日(月)13:30~16:30 中央公民館 学習室8号 総会開催とイベント実施(内容は未定)</p>
<p>4. 地球環境に学ぶ (芝間 伸剛 080-5453-0117)</p> <p>気候変動等世の中の種々の環境問題をはじめ、私たちの身の回りの生活環境について、情報を持ち寄り討議します。 時には、見学会も実施します。いつでも自由に参加できます。</p> <p>3月25日(火)9:00~11:30 新所沢東公民館 月例会 3月度の読書会の日程は未定</p>	<p>11. 傍聴席 (石堂 智士 2947-0835)</p> <p>3月17日(月)14:00~16:00 新所沢東公民館 研修室1号 テーマ:「自由討議」 提案を待っています。 他に、2月市議会からの施政方針など。</p> <p>4月21日(月) 予定 ※市政に関心のある方は自由にご参加ください</p>
<p>5. 所沢シニア世代地域デビュー支援の会 (田口 元也 090-9820-5668)</p> <p>3月12日(水)13:15~15:00 中央公民館 1階 学習室3号 年間テーマ「地域デビューを考える」 出前講座「所沢市の地方創生」の振り返り 他 <SP・スマイルパイレーツ 練習日> 見学大歓迎!</p> <p>3月8日(土)13:30~16:00 生涯学習推進センター 多目的室 3月22日(土)13:30~16:00 中央公民館 3階 学習室6号</p>	<p>12. 民話の会 (仲山 富夫 090-3902-0283)</p> <p>3月、日程が決まり次第「お話会」へ5~6人で参加。 会場:東所沢「グループホームあおぞら南永井」 演目は所沢の民話『あつちいちいの新光寺』ほか、懐かしい歌、所沢に咲く春の花の写真観賞の構成で60分予定。</p> <p>3月21日(金)10:00~13:00 こどもと福祉の未来館1階 定例会</p>
<p>6. 所沢の自然と農業 (稲村 洋二 090-5530-4703)</p> <p>3月13日(木)13:00~15:00 新所沢公民館 学習室1号 定例会</p> <p>3月18日(火)9:30~11:30 柳瀬荘黄林閣ボランティア</p> <p>3月28日(金)9:30~11:30 柳瀬荘黄林閣ボランティア</p> <p>3月31日(月)10:00~ 春のハイキング 昭和記念公園</p> <p>4月10日(木) 日帰りバス旅行 新府桃源郷(山梨)</p>	<p>13. ITサロン (ところざわ倶楽部) (玉上 佳彦 090-2497-1076)</p> <p>3月12日(水)13:00~16:00 新所沢公民館 学習室5号</p> <p>3月28日(金)13:00~16:00 新所沢公民館 学習室5号</p> <p>4月4日(金)13:00~16:00 新所沢公民館 学習室5号</p> <p>4月18日(金)13:00~16:00 新所沢公民館 学習室5号</p>
<p>7. 野老澤の歴史をたのしむ会 (茂出木 正和 2924-7533)</p> <p>3月19日(水) 近隣の歴史を読み解く 「引又宿(志木市)を訪ねよう」 集合 8:30 武蔵野線新秋津駅前 解散 12:00 頃 志木市駅 ※今回は木曜日祝日のため水曜日です。</p> <p>4月3日(木) 江戸東京たてもの園見学 集合 9:30 所沢駅とこてらす</p>	<p>14. 謡曲・仕舞を楽しむ会 (野口 喜美夫 090-8054-3317)</p> <p>3月4日(火)9:30~12:00 中央公民館 学習室8・9号</p> <p>3月18日(火)9:30~12:00 中央公民館 学習室8・9号</p> <p>4月1日(火)9:30~12:00 中央公民館 学習室8・9号</p> <p>4月15日(火)9:30~12:00 中央公民館 学習室6号 ※観世流 謡曲と仕舞の稽古・練習を行います。</p>

川柳 (103) 号 作品発表 選 岡本詔笛

課題「時代」



ロボットとAI頼み未来形	リンゴ好き
一番は母がいた時代もう一度	海さどる
あのころは蛍雪時代泣いた日々	突拍子
時代劇 高い評価はハリウッド	縄文人
ひもじいとテレビで言えば孫が問う	香歩
時代とは縁が取り持つ不思議な世	詔笛
合うのかな宇宙時代に高齢者	峯声

「自由題」

自分でももっと欲をとでもダメね	海さどる
雪を待つスノーチェーンの装着日	突拍子
年金は エンゲル係数 高くする	縄文人
おみかんを褒めて貰ってまた貰う	リンゴ好き
連れ立ちのある嬉しさや足軽き	香歩
フルコース行事重なりデズッパリ	詔笛
日の出には安心怖さ混じり見る	峯声

次回(第104回) 課題「検証」そして「自由題」
締め切り…2月20日 担当…岡本まで、どなたでも

宛先 okamotosh@gmail.com

理事会報告

総務部長 中原幹男

2月10日(月) 第3回理事会を開催しました。

- ・春のイベント3/21 ところざわ倶楽部寄席を主催所沢演芸会、協力ところざわ倶楽部として有料開催することを再確認しました。18期新入会員は無料招待。
- ・その次のイベント：文芸講座および時局講演会の講師、テーマを募集しています。理事を通してご提案をお願いします。
- ・昨年広場5月号で新会員の紹介を掲載しましたが、それ以降の中途入会員と今18期入会員の紹介を4月号に掲載する予定です。対象者は原稿をお寄せください。
- ・3月理事会から市民大学32期企画委員長下村さんが参加予定です。

懐かしの映画鑑賞会



日時 3月18日(火)
10時~14時
昼食休憩あり
途中退席可
題名 「黒部の太陽」
邦画3時間16分の
大作!!

当時、世紀の大工事と言われた黒部ダム建設の苦闘、特に関電トンネル工事を描いている
三船プロダクションと石原プロモーションが関西電力と共同制作した作品

編集者から



漱石草枕では、いくらこの世が住みにくいと言っても『人でなしの国』はなお住みにくかろうと言っています。しかし、AI 社会にはそのような非情な世界に近づく可能性があると感じています。AI 技術の進展は確かに業務の効率化やデータ分析において多くのメリットを生み出していますが、同時に失業問題やプライバシーの懸念といった新たな課題も浮上しています。AI と人間社会の調和が求められる今、漱石の「智に働けば角が立ち、情に棹させば流される」という言葉が、ますます現代社会に通じるものとして感じられます。シニアにとって、そんな冷徹な世界に足を踏み入れることだけは、何としても避けたいものです。

松尾基昭：記